

総合実習／3学年

1. 実習目的

病院組織のなかの看護管理について学び、保健医療福祉における看護の機能と役割を理解し、チームの一員としての自覚と責任を持ち実践できる能力を養う。また、これまでの経験を統合し自己の看護観を明確にする。

2. 実習目標

- 1) 看護管理について学び、既習の知識・技術・能力を統合し、看護実践能力を高める。
- 2) 保健医療福祉の連携について学び、チームにおける看護の機能と役割を理解する。
- 3) 看護に対する考え（看護観）と、看護実践における自己の課題について明確にする。

3. 実習内容

一般目標	行動目標	実習内容
1. 病院における看護組織を理解できる。 (実習目標 1)	1) 組織のあり方を理解し、組織の一員であることを自覚できる。	(1)病院組織の中での看護 ・病院組織における看護部門の位置づけ ・看護管理業務 (人事、業務、物品、安全管理等)
2. 一看護単位における看護体制を理解できる。 (実習目標 1、2)	1) 看護体制を理解し、メンバーの役割行動に活かすことができる。	(1)看護方式の種類とその内容 ・機能、業務別看護方式 ・受持制看護方式 ・混合型看護方式 ・チームナーシングシステム (2)勤務体制（形態）の種類とその内容 ・3交代制等 ・夜勤での観察（学内実習）
3. 看護チームのメンバーの役割と責任について理解できる。 (実習目標 1、2、3)	1) チームメンバーであることを自覚し、責任ある行動をとれる。	(1)看護の実践 ・申し送りを受け、患者を把握する ・業務の優先度の判断 ・看護計画の立案・展開 ・看護の実践と報告、記録 ・情報提供・入退院の看護 ・他部門との関連業務 ・継続看護の必要性 ・リーダーとの連携 ・カンファレンスへの参加 ・医療安全 ・看護師長業務の説明を受ける ・チームリーダー、助手業務の体験

一般目標	行動目標	実習内容
3. 看護チームのメンバーの役割と責任について理解できる。 (実習目標 1、2、3)	2) 複数の患者を受け持ち、援助の優先順位を考えた行動ができる。	<ul style="list-style-type: none"> ・実習指導者の役割 ・看護上の問題点の把握 ・患者のスケジュールや業務の調整 ・行動計画の立案、修正 ・優先度の決定、状況判断の評価

4. 実習時間 (単位)

総時間 90 時間 (2 単位)

1) 臨地実習 73 時間

2) 学内実習 17 時間 (0.38 単位)

目的：臨地での学びを深める。また、夜勤を想定した観察の実際を学内 (実習室) で行う。

内容：①学内でミーティングを行い情報共有する。臨地での学びをノートに記載し指導のもと振り返る。

②5 日目か 6 日目の学内実習のうち 1 日は、夜勤を想定した観察の実際を学内 (実習室) で行う。

実習期間および時間

	8:30~9:15	9:15~10:00	10:00~10:45	10:45~11:30	11:30~12:15	13:15~14:00	14:00~14:45	14:45~15:30	15:30~16:15	16:15~17:00
1 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
2 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
3 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
4 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
5 日目			臨地実習			学内実習	夜勤での観察の実際 (学内実習)			
6 日目			臨地実習			学内実習	夜勤での観察の実際 (学内実習)			
7 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
8 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習
9 日目			臨地実習				臨地実習			学内実習

5. 実習方法

1) 実習予定表を事前に病棟で記載してもらい、学生は予定表に基づいて行動計画を立案し、実習する。

2) 週別実習内容

1~5 日目 — チームメンバーとして実習

6~9 日目 — チームメンバーとして実習

チームリーダーとしての実習 (1~2 日)

看護師長業務 (半日~1 日)

助手業務の体験 (1 日)

5 または 6 日目の午後 — 夜勤を想定した観察の実際

3) レポート

実習終了後レポート用紙 (A4 版) 3 枚程度にまとめ、実習記録と共に担当教員に提出する。

内容は病棟指導者、病棟課長と教員が確認する。

テーマは「看護に対する私の考え」で自由記載とする。

6. 実習記録

実習の記録を参考に作成する。

7. 実習評価

総合実習評価表を用いて、実習終了後 2 週間以内に臨床指導者と担当教員で評価を行う。

総合実習評価表

項目	評価対象	評価基準 5点	評価基準 4点	評価基準 3点	評価基準 0~2点	点数	
1	複数患者に対して、看護計画に基づきその場の患者のニーズを捉え、個別性をもって必要な看護を安全・安楽に実践できる。	複数患者に対して、看護計画に基づきその場の患者のニーズを捉える。個別性をもって必要な看護を安全・安楽に実践できる。	複数患者に対して、看護計画に基づいてはいないがその場で患者のニーズを捉え、個別性をもって必要な看護を安全・安楽に実践できる。	複数患者に対して、個別性や安全・安楽の視点が不十分で助言を要する。	複数患者に対して、必要な援助は考えているが個別性や安全・安楽な実践が助言を受けてもできない	1	
2	複数患者と病棟の状況を踏まえ、根拠を明確にし適切な優先順位を考慮して行動できる。	根拠は明確でないが、適切な優先順位を考慮して行動できる。	適切な優先順位を考慮して行動できる	適切な優先順位を考慮して行動できる	かなりの助言を受けても援助の根拠を明確にできず、適切な優先順位を考慮して行動できない	2	
3	患者に合わせて、看護技術を実践している。 <input type="checkbox"/> 正確性 <input type="checkbox"/> 時間・効率性 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 個別性に配慮した工夫	患者に合わせて、看護技術を実践している。 <input type="checkbox"/> 正確性 <input type="checkbox"/> 時間・効率性 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 個別性に配慮した工夫	患者に合わせて、看護技術を実践している。 <input type="checkbox"/> 正確性 <input type="checkbox"/> 時間・効率性 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 個別性に配慮した工夫	患者に合わせて、看護技術を実践している。 <input type="checkbox"/> 正確性 <input type="checkbox"/> 時間・効率性 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 個別性に配慮した工夫	患者に合わせて、看護技術を実践している。 <input type="checkbox"/> 正確性 <input type="checkbox"/> 時間・効率性 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 個別性に配慮した工夫	患者に合わせて、看護技術を実践している。 <input type="checkbox"/> 正確性 <input type="checkbox"/> 時間・効率性 <input type="checkbox"/> 安全性 <input type="checkbox"/> 個別性に配慮した工夫	1
4	患者に応じた診療及び検査、処置の介助ができる。	患者に応じた診療及び検査、処置の介助ができる。	患者に応じた診療及び検査、処置の介助はできなかつたが見学を自己学習でいかし経験しようとしていない	患者に応じた診療及び検査、処置の介助や見学はできず、自己学習をいかし経験しようとしていない	患者に応じた診療及び検査、処置の介助や見学はできず、自己学習をいかし経験しようとしていない	0	
5	患者に合わせて説明・指導を効果的に実践し反応を確認できる。	患者に合わせて説明・指導を効果的に実践し反応を確認できる。	反応は確認していないが患者に合わせて説明・指導を実践できた	反応は確認していないが患者に合わせて説明・指導を実践できた	患者に合わせて説明・指導を効果的に実践し反応を確認できない	0	
6	タイムマネジメントを意識して看護実践ができる。	タイムマネジメントを意識して看護実践ができる。	タイムマネジメントを意識して行動はできなかつたが、準備から後始末まで責任をもってできる	タイムマネジメントを意識して行動はできなかつたが、準備から後始末まで責任をもってできる	助言を受けても、タイムマネジメントを意識して行動できない	1	
7	患者の全身状態を観察し、簡潔に看護記録ができる。	患者の全身状態を観察し、簡潔に看護記録ができる。	助言を受けて患者の全身状態を観察し、簡潔に看護記録ができる	助言を受けて患者の全身状態を観察し、簡潔に看護記録ができる	助言を受けて患者の全身状態を観察し、簡潔に看護記録ができない	2	
8	チームカンファレンスや病棟でのミーティングの必要性を理解し、情報提供・意見交換ができる。	チームカンファレンスや病棟でのミーティングの必要性を理解し、情報提供・意見交換ができる。	チームカンファレンスや病棟でのミーティングで、発表内容は整理されていらないが発言している	チームカンファレンスや病棟でのミーティングで、発表内容は整理されていらないが発言している	チームカンファレンスや病棟でのミーティングで、発表内容は整理されていらないが発言していない	2	
9	チームメンバー及びチームリーダーとの連携の必要性を理解し、行動できる。	チームメンバー及びチームリーダーとの連携の必要性を理解し、行動できる。	チームメンバー及びチームリーダーとの連携の必要性を理解し、行動できる	チームメンバー及びチームリーダーとの連携の必要性を理解し、行動できる	チームメンバー及びチームリーダーとの連携の必要性を理解できない	1	
10	病棟組織の中の看護職の役割と、看護管理の視点について述べられる。	病棟組織の中の看護職の役割と、看護管理の視点について述べられる。	看護管理について不十分な項目が1~2項目ある	看護管理について不十分な項目が3~4項目ある	看護管理について不十分な項目が5項目以上ある	0	
11	事例をもとに観察項目を検討し、夜間であることに配慮した観察・報告ができる。	事例をもとに観察項目を検討し、夜間であることに配慮した観察・報告ができる。	助言を受けて事例をもとに観察項目を検討し、夜間であることに配慮した観察・報告ができる	助言を受けて事例をもとに観察項目を検討し、夜間であることに配慮した観察・報告ができる	助言を受けて事例をもとに観察項目を検討し、夜間であることに配慮した観察・報告ができない	1	
12	継続したこと全てについて自己の考えを交えて、評価考察できる。 <input type="checkbox"/> 医療安全 <input type="checkbox"/> 看護管理 <input type="checkbox"/> メンバーシップ <input type="checkbox"/> リーダーシップ <input type="checkbox"/> 看護ケア <input type="checkbox"/> 助手業務	継続したこと全てについて自己の考えを交えて、評価考察できる。 <input type="checkbox"/> 医療安全 <input type="checkbox"/> 看護管理 <input type="checkbox"/> メンバーシップ <input type="checkbox"/> リーダーシップ <input type="checkbox"/> 看護ケア <input type="checkbox"/> 助手業務	継続したことについて評価考察が不十分な項目が1~2項目ある	継続したことについて評価考察が不十分な項目が3~4項目ある	継続したことについて評価考察が不十分な項目が5項目以上ある	継続したことについて評価考察が不十分な項目が5項目以上ある	0
13	保健医療福祉の連携について考察し、その中の看護の役割について述べられる。	保健医療福祉の連携について考察し、その中の看護の役割について述べられる。	看護にはつながらないが、保健医療福祉の連携について述べられる	看護にはつながらないが、保健医療福祉の連携について述べられる	保健医療福祉の連携について述べられない	2	
14	他部門の役割を知り、連絡調整のあり方が理解できる。	他部門の役割を知り、連絡調整のあり方が理解できる。	他部門の役割を知り、連絡調整のあり方が理解し助言を受けて述べられる	他部門の役割を知り、連絡調整のあり方が理解し助言を受けて述べられる	他部門の役割を知ることができない	0	
15	退院支援チームにおける看護の役割と継続性を理解し、多職種との連携について述べられる。	退院支援チームにおける看護の役割と継続性を理解し、多職種との連携について述べられる。	退院支援チームにおける看護の役割と継続性を理解し、多職種との連携について述べられる	退院支援チームにおける看護の役割と継続性を理解し、多職種との連携について述べられない	退院支援チームにおける看護の役割と継続性を理解し、多職種との連携について述べられない	0	
16	知識と経験を統合し、現在の看護観について考察することができる。 ・知識と経験を統合し、現在の看護観について考察することができる。 ・自分の看護観について考察できる。 ・一貫した論旨は一貫している。 ・期限までに提出できる	知識と経験を統合し、現在の看護観について考察することができる。 ・知識と経験を統合し、現在の看護観について考察することができる。 ・自分の看護観について考察できる。 ・一貫した論旨は一貫している。 ・期限までに提出できる	自分の看護観について考察はできているが、知識と経験を統合し、現在の看護観について考察できない	自分の看護観について考察はできているが、知識と経験を統合し、現在の看護観について考察できない	自分の看護観について考察はできているが、知識と経験を統合し、現在の看護観について考察できない	自分の看護観について考察はできているが、知識と経験を統合し、現在の看護観について考察できない	0
17	看護師や教員に報告・相談をしている。 <input type="checkbox"/> 援助前後 <input type="checkbox"/> 適切なタイミング <input type="checkbox"/> 患者の変化 <input type="checkbox"/> 自己の所在	看護師や教員に報告・相談をしている。 <input type="checkbox"/> 援助前後 <input type="checkbox"/> 適切なタイミング <input type="checkbox"/> 患者の変化 <input type="checkbox"/> 自己の所在	報告・連絡・相談が不十分な項目が1項目ある	報告・連絡・相談が不十分な項目が2項目ある	報告・連絡・相談が不十分な項目が3項目以上ある	報告・連絡・相談が不十分な項目が3項目以上ある	0
18	自己の課題解決に向け実習に臨み、学習を進めている。 ・自分の課題解決に向け実習に臨み、学習を進めている。 ・自分からいろいろなことを調べたり質問し、早期に解決しようとしている(アドバイザーの赤ペンに対し、調べて返答している)	自己の課題解決に向け実習に臨み、学習を進めている。 ・自分の課題解決に向け実習に臨み、学習を進めている。 ・自分からいろいろなことを調べたり質問し、早期に解決しようとしている(アドバイザーの赤ペンに対し、調べて返答している)	学習を進めているが自己の課題に結びついていない	学習を進めているが自己の課題に結びついていない	学習を進めていくにあたり、学習を進めていない	学習を進めていくにあたり、学習を進めていない	2
19	より良い看護実践をするために実習グループ内で、自らの経験・困り事、よくできた事などを話し合っている。	より良い看護実践をするために実習グループ内で、自らの経験・困り事、よくできた事などを話し合っている。	実践につながらないが、助言を受けてより良い看護実践をするために実習グループ内で、自らの経験・困り事、よくできた事などを話し合っている	実践につながらないが、助言を受けてより良い看護実践をするために実習グループ内で、自らの経験・困り事、よくできた事などを話し合っている	実践につながらないが、助言を受けてより良い看護実践をするために実習グループ内で、自らの経験・困り事、よくできた事などを話し合っていない	0	
20	自らの体調を整えて実習に臨み、全日出席している。 ・体調がすぐれない時は、自ら教員や病棟スタッフに申し出て、必要な対応をしている	自らの体調を整えて実習に臨み、全日出席している。 ・体調がすぐれない時は、自ら教員や病棟スタッフに申し出て、必要な対応をしている	自らの体調を整えて実習に臨んだが、2日以上以上の遅刻・早退・欠席があった。 ・体調がすぐれない時に必要な対応ができない	自らの体調を整えて実習に臨んだが、2日以上以上の遅刻・早退・欠席があった。 ・体調がすぐれない時に必要な対応ができない	自らの体調を整えて実習に臨んだが、2日以上以上の遅刻・早退・欠席があった。 ・体調がすぐれない時に必要な対応ができない	自らの体調を整えて実習に臨んだが、2日以上以上の遅刻・早退・欠席があった。 ・体調がすぐれない時に必要な対応ができない	

合計 /100